

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 1 月 28 日

議 会 議 長 様

議席番号 7 番

議員氏名 江 口 栄 子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 水道料金引き上げの見直しを	1 月 21 日に開催された令和 7 年第 1 回杉戸町議会臨時会において、国の令和 6 年度補正予算による「重点支援地方交付金」が追加され、「物価高騰対策事業」として 8 つの事業が決まりました。そのうちの 1 つとして、「水道基本料金免除事業」を行うことが決まりました。水道料金の基本料金を、4 月検針分から 4 か月間（2 検針分）免除するものです。物価高騰で町民の生活が苦しい中、この施策を評価します。 しかし、埼玉県は 2024 年 12 月議会に、2026 年度（令和 8 年度）から県水料金を 1 立方メートルあたり現行 61.78 円から 74.74 円（改定率 21%増）へ引き上げる議案と、流域下水道維持管理負担金の引き上げ議案を提出し可決されました。負担するのは県内市町村・水道企業団ですが、市町村などは値上げ分を住民の上下水道料金に転嫁することになり、住民の負担増に直結するものです。杉戸町は、95.2%（令和 4 年度）を県水から購入しているので、影響が大きいです。 そこで、以下伺います。 (1) 現在、杉戸町の県水受水率は 100%近くと極めて高いが、このようになった経緯は。 (2) 家庭用の水道水と工業（事業）用の水道水の性質や性格は、どのように違うのか。 (3) 地震や災害対策などのために自己水（地下水）が必要と考えるが、町の見解は。	町長 副町長 上下水道課長 担当課長

1 月 28 日 午前・午後 11 時 20 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 待機児童の解消を	(4) 水道水はいのちに関わる重要なインフラである。町民は、相次ぐ物価高騰で疲弊しきっている。損益勘定留保資金の活用や一般会計からの繰り入れなどを行い、水道料金を引き上げないように検討すべきと考えるが町の見解は。 (5) 町長は県に対し県水値上げの撤回を求めるつもりはないのか。 厚生労働省が2024年7月に発表した2023年の「国民生活基礎調査」では、子育て世帯の内、母親が仕事に就いている割合が77.8%と比較可能な20年で過去最高となっています。また、生活について「苦しい」と答えた子育て世帯の割合は65%で、前年から10%以上の急上昇となりました。とどまることのない物価高騰が子育て世帯の生活を急激に悪化させています。 令和6年9月議会の資料では、8月1日現在、保育園の待機児・保留児は43人(0歳19人、1歳16人、2歳6人、3歳1人、5歳1人)です。 令和7年4月からの保育園の新規入所申込状況は、121人とお聞きしました。 また、放課後児童クラブの希望者・申請者は473人(杉小179人、第二小86人、第三小60人、西小93人、高小40人、泉小15人)とお聞きしました。 そこで、子育て世帯の支援として、保育園や放課後児童クラブでの受け入れ状況等について、以下伺います。 (1) 令和7年度4月からの保育園における受け入れ状況と待機児童・保留児童の状況はいかがか。 (2) 保育園における待機児童対策として、町ではどのような取組を行っているのか。 (3) 令和7年度4月からの放課後児童クラブの受け入れ状況と待機児童の状況はいかがか。 (4) 放課後児童クラブにおける待機児童対策として、町ではどのような取組を行っているのか。	町長 副町長 教育長 子育て支援課長 教育総務課長 担当課長